

# 天外蒼天

第3号

題字・高木 飛翔 一般社団法人トップスターユニオン会報/令和6年12月1日発行

TOP STAR UNION



ハングリーであれ。



一般社団法人TSU

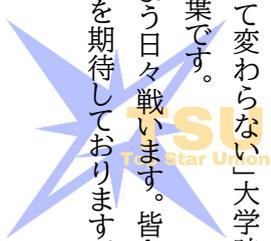
専務理事 奥谷 英宗

いつも皆さんの活躍を楽しみにしております。皆さんと同じく私も大きな目標に挑戦しております。

私は「負け続けたから今がある。」自分のこれまでを振り返りそう思います。五歳から現在まで相撲を続け、良い結果を残せたのは大学二年次の全国学生相撲個人体重別選手権大会での日本一のみです。小学生では一回戦で姿を消す「一回戦ボーイ」と呼ばれ、周りからは「才能がない、辞めた方がいい。」と言われたこともありました。これまでずっと負け続けてきました。それでも諦めませんでした。自分を否定する人や、夢を笑う人には「もつと笑え。そうすれば俺はまだ走れる。」という反骨精神で続けた結果日本一になることができました。

相撲には心技体という言葉があります。技と体は足し算ですが、心はかけ算です。自分の心が折れない限り勝てる日は必ずやってきます。「人間本気になれば対して変わらない」大学時代に恩師にいただいた言葉です。

私も皆さんに負けぬよう日々戦います。皆さんのこれから益々の活躍を期待しております。



新しい相撲のかたち

令和六年四月一日、宇都宮市にトップスターユニオン(TSU)を設立、七月一日に法人格を取得し一般社団法人となった。これまでの相撲界にはない「新しいかたち」で組織運営を行い、相撲競技の発展に貢献していきたいとTSUを設立した。目的達成のため様々な事業を行うほか、令和六年七月設立のTSU宇都宮相撲道場と令和六年六月設立のTSU大田原相撲道場のクラブ運営を行っている

一般社団法人トップスターユニオン理事

理事長 高木 飛翔 (TSU宇都宮代表)

専務理事 奥谷 英宗 (事業部長)

常任理事 西方 航 (強化部長・TSU大田原代表)

常任理事 川上 敦也 (総務部長)

常任理事 菊池 大史芽 (クラブ運営局長)

常任理事 松園 大成 (普及部長)

特任理事 花田 秀虎

TSUとちぎエリア統括本部役員

役員 高木 靖子

役員 大金 航海

役員 菊池 峻太

TSU宇都宮相撲道場役員

顧問 内藤 清

顧問 田崎 稔

ヘッドコーチ 鈴木 雄山

TSU大田原相撲道場役員

ヘッドコーチ 小山 颯太

コーチ 宮崎 伊吹



令和六年度役員紹介

理事長



高木 飛翔 Tsubasa Takagi

(長野県・木曾青峰高校・日本体育大学出身)

President

専務理事



奥谷 英宗 Hidemune Okutani

(高知県・宿毛高校・日本体育大学出身)

Managing Director

常任理事



西方 航 Wataru Nishikata

(秋田県・金足農業高校・日本体育大学出身)

Permanent Director

川上 敦也 Atsuya Kawakami

(栃木県・大田原高校・新潟大学出身)

菊池 大史芽 Hiroshige Kikuchi

(青森県・木造高校・日本体育大学出身)

松園 大成 Taisei Matsuzono

(長崎県・猶興館高校・日本体育大学出身)

## 理事就任にあたり

変えるもの、変えないもの。その先にあるもの。

常任理事 川上 敦也

「不易を知らざれば基立がたく、流行を知らざれば風新にならず。」(『去来抄』より)

私の勤務する黒羽高校は、大田原市の黒羽地区にあります。黒羽は俳人松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅において最も長く滞在した、芭蕉ゆかりの地です。書き出しは、有名な「不易流行」の一節。芭蕉の俳諧の理念を、弟子、向井去来が伝えるものです。

さて、予測困難な時代といわれる現在、子どもたちのスポーツをとりまく環境も、部活動の地域移行をはじめ、変革期にあります。その中において、相撲人口は減少の一途。この現状に危機感を抱いたことが、高木理事長を中心とした当法人立ち上げの一因でした。立ち上げより約半年間、既存の枠組みをこえた積極的な交流や、透明性のある組織運営を目指し、変化を恐れず前進し続けたと言えるでしょう。

今後常任理事として、微力ながら、TSUの活動を通して相撲の発展を支えたい。そう思ったとき、「流行」(その時代における新しき先端を行くもの)を追うだけでなく、「不易」(どの時代も価値を失わないもの)を重んじることも大切であると感じます。TSUのあるべき「不易」とは何かを常に見つめ、その中に新しい変化を取り入れていく。TSUの発展は、「不易」と「流行」の両輪をいかに回していくか、いわば哲学といえるものを問い続けること、ここにかかっているとは私と考えます。関係の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 役員就任にあたり

一歩踏み出す

TSU大田原相撲道場 小山 颯太

今年度よりTSU大田原相撲道場ヘッドコーチに就任しました、小山颯太と申します。選手、保護者の皆様をはじめ、サポートしてくださる方々の声援にお応えできるよう精一杯努めて参ります。

相撲に携わっていくうえで、私の目標は「一歩踏み出す」ことです。選手達には目標に挑戦したり、自分の相撲の取り口に迷ったり、苦手な選手に挑んだり、そういった場面で一歩踏み出してやりたいことにどんどん挑戦してほしいと思っています。

選手が全国の土俵で活躍し、TSUの名前を轟かせたいと思っております。チームTSUとして全力で指導させて頂きます！今後とも宜しくお願い致します。

努力は裏切らない

TSU大田原相撲道場 宮崎 伊吹

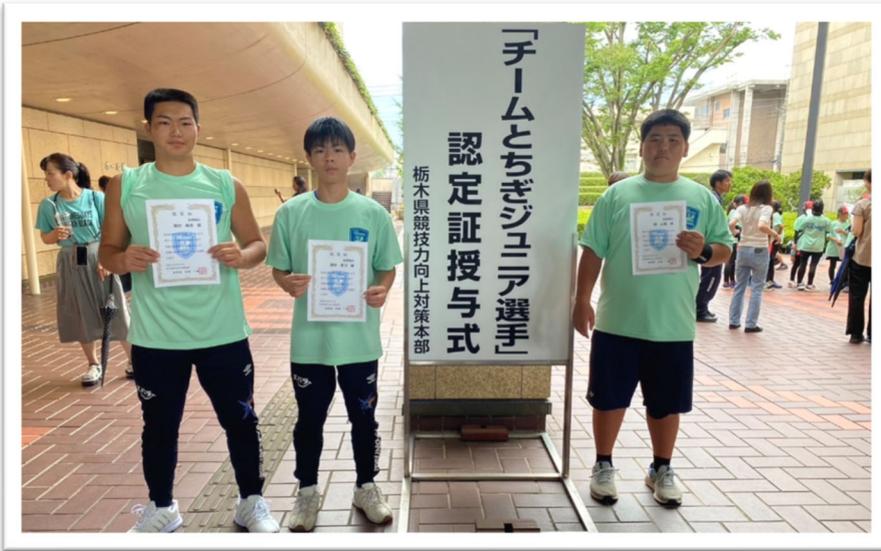
私は高校生で本格的に相撲を始めました。日々の練習を通じ相撲のための体作りを行ってきました。

高校一年の時は誰にも勝てず、悔しい思いをしましたが、そこから努力を重ね、高校三年では結果を残せるようになりました。今思い返すと、勝てなかった一年生の時からの努力の積み重ねが結果に結びついたのだと思います。「努力は裏切らない」ことを学びました。

選手の皆さん、お互いに相撲の練習を頑張ってくださいませ。私も指導者として、様々なことに挑戦し選手の皆さんと共に学んでいきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

県強化選手認定

令和六年度栃木県競技力向上対策本部チームとちぎジュニア選手としてT・S・U宇都宮相撲道場二年割谷純虎選手、一年関心越選手、割谷倉司選手が認定され八月三十一日栃木県総合文化センターにおいて認定証授与式が行われた。相撲競技の全認定者四名の内、三名がT・S・Uの選手となった。郷土を代表する選手として活躍に期待したい。



指導者の活躍

八月二十四日に第五十九回関東相撲選手権大会が開催され、成年の部にT・S・U大田原相撲道場の西方航監督、小山颯太ヘッドコーチ、宮崎伊吹コーチが栃木県代表として出場し悲願の団体戦初優勝を飾った。特に、西方監督は年齢を感じさせない安定した相撲で勝利を重ねた。今後も現役選手と指導者の両面で活躍が期待される。



二所、関部屋

ホームページ：QRコードを読み取りください。  
お問い合わせ先：kise.yokozuna72@gmail.com



一般社団法人化に向け法人設立準備室を設置し準備を行った。相撲競技の振興と発展に向け多くの関係者に理解を得るために、信頼できる組織運営と安定した経営が必要不可欠である。それらを行う組織運営の拠点として栃木県宇都宮市にTSU事務局を開設した。現在のところ常駐職員は不在だが、ネットワークの構築と専用アプリの開発を行い全国にいる役員がパソコンやスマホからTSU事務局のサーバーにアクセスし、業務を行えるようになってきている。また、公式LINEを活用し、いただいた問い合わせは役員全員に共有され対応できるようになっている。会員拡大に向けSNSやチラシを活用し認知度の向上を図っている。

会員数の変遷

会員種別	令和5年度	令和6年度
正会員	4名	13名
選手会員	14名	29名
後援会員	25名(社)	34名(社)
合計	43名(社)	76名(社)



一般建築・リフォーム施工

将建

〒320-0061  
 栃木県宇都宮市宝木町 1-80-7  
 TEL 090-1610-9646  
 FAX 028-616-2165

将建  
 SHOKEN

事業報告「クラブ運営局」

今年度、TSUが運営を行った相撲道場はTSU宇都宮相撲道場とTSU大田原相撲道場の二つとなった。特に、六月一日に大田原市に開設したTSU大田原相撲道場は、初年度でありながら、十一名もの選手が集まった。これは「相撲のまち」として地域おこしを長期的に行っている大田原市の土地柄と、TSU宇都宮相撲道場の活躍が県北地域の選手にも刺激になったことが影響したと考えている。

クラブ運営局では「地域にこころいかなから」ではなく、「TSUの道場だから」選んでもらえるよう、ブランド化を推進し、TSUにしかできないことを実現すると共に、今後も全国規模でTSUの相撲道場が活躍し、さらなる競技人口の拡大を図れるよう努める。



選手会員数	令和5年	令和6年
TSU宇都宮	14名	18名
TSU大田原	—	11名



中学校体育連盟への地域クラブ登録

令和五年度より中学校運動部活動の地域移行が本格的に始まり、相撲競技においても中学校体育連盟主催の大会に従来の学校単位の部活動に加え、地域クラブチームの参加も可能となった。

TSUでは、TSU宇都宮相撲道場が地域クラブチームとして栃木県中学校体育連盟に登録し出場した。TSU大田原相撲道場の選手は全員が中学校三年生だったこともあり、所属する中学校からの出場を選んだ。相撲競技は中学校の相撲部の母数が少ないため、この制度は地域クラブチームにとって追い風となっている。今後も関係機関と連携し中学生の放課後スポーツの場として一躍を担っていく。

TSU宇都宮相撲道場

令和五年六月一日に旗揚げしたTSU宇都宮相撲道場は、活動を開始してからちょうど一年が経過した。選手は十八名に増え、普段の練習にも活気が増してきた。宇都宮市の陽南第一公園を中心に練習に励んでいるが、人数が増えたおかげか土俵が狭く感じる。練習内容も少数だった昨年と比べ、かなり変化があった。限られた時間の中で選手全員が全力を出し切れるよう工夫を凝らしながら稽古を行っている。中学生が小学生のお手本となり、下級生をまとめあげるなど、心身ともに成長が見られた一年となった。

今年度は、栃木県少年相撲大会において団体戦優勝、準優勝を成し遂げた。一年目にして県ではほとんど敵なし状態となっているが、関東大会や全国大会など県外の大会においてはまだまだ力不足である。あと一步のところで勝ち切る力を今後身に付けていきたい。



TSU大田原相撲道場

令和六年六月一日より、大田原市を中心とする県北地域に新しい相撲道場「TSU大田原相撲道場」を開設した。TSU宇都宮相撲道場と同じTSU傘下のチームであり兄弟道場である。栃木県立黒羽高等学校相撲部を拠点に毎週水曜日と日曜日に練習を行っている。十一月現在の選手会員は十一名で人数はまだまだ寂しいが、黒羽高校相撲部の先輩方やOBが集まり、小中高と社会人が共に汗を流せる最高の環境である。また、日曜日の練習にはTSU宇都宮相撲道場に通う選手の「練習乗り入れ」が可能となっているため、賑やかに楽しく相撲に取り組むことができている。

今年度の大会はどれも初めての経験であり、なかなか結果を残すことは難しかったが、この道場で出会った仲間と一勝でも多く勝ち進み、結果が残せるようになる日が楽しみである。



## 事業報告（事業部）

## わんぱく相撲うつのみや場所開催協力

六月一日栃木県・県総合運動公園相撲場において開催された第四十二回わんぱく相撲うつのみや場所の開催に協力した。今年度より公益社団法人宇都宮青年会議所と宇都宮相撲協会、TSUが一体となり、わんぱく相撲宇都宮実行委員会を立ち上げた。事業部では大会運営への助言、当日の審判派遣、模範演技のデモンストレーションなどを行った。また、TSU後援会員でもある二所ノ関部屋より力士を招待し、稽古の様子を子ども達に披露していただいた。



## 栃木県少年相撲選手権大会共催

七月七日栃木県・県総合運動公園相撲場において開催された第四十四回栃木県少年相撲選手権大会に共催した。大会前には選手募集の広報活動やプログラムの作成などの大会準備を行い、当日は放送や審判、受付など多くのTSU関係者がスタッフとして運営に協力した。栃木県相撲連盟では若手の審判、補助員が減少していることが課題となっている。TSUの若い力を活用し、今後も積極的に大会運営の協力をを行い、相撲競技の発展に貢献していく。



## 熱中症対策ドリンク配布

今夏も連日猛暑が続き、毎週のように各地で行われた大会も熱中症対策を十分に講じて実施された。TSUでは栃木県内で開催された大会において、選手、監督をはじめ来場した全ての方に熱中症対策ドリンクの配布を行った。今年にはわんぱく相撲なすのがはら場所、大田原市少年相撲大会、わんぱく相撲うつのみや場所、栃木県少年相撲選手権大会において合計二千本に及ぶドリンクを配布した。主催者、来場者から大変好評を頂くことができた。



## 事業報告〈強化部〉

## 連携強化練習会

T・S・U加盟道場の連携と強化を図るため、毎月一回連携強化練習会を実施した。冬期はT・S・U大田原相撲道場の土俵で実施を予定しているため、夏期はT・S・U宇都宮相撲道場の土俵で行った。日頃の練習の成果を確かめる機会となっており、選手はいつも以上に気合いを入れて練習に励んでいる。約三十名の選手が集まるため、普段の練習とは雰囲気の違い、活気あふれる練習となっている。練習後には、ちゃんこ会を行い、共に食事をすることで兄弟道場として親睦を深めた。



## T・S・U指導者養成講習会

六月二十二日栃木県・T・S・U宇都宮相撲道場及びT・S・U事務局においてT・S・U指導者養成講習会を実施した。松園常任理事が講師を務め、普段よりクラブに携わる指導者十名が集まり、二時間の座学講義と二時間の実践指導を受講した。この講習会は指導者の資質向上を目的に実施している。T・S・Uの指導方針を確認し、選手一人ひとりにあった適切な指導法を研究する貴重な機会となった。T・S・Uの指導者として自信をもって選手への指導にあたっていきたい。



## T・S・Uメンタルトレーニング講習会

八月八日栃木県さくら市氏家公民館においてT・S・Uメンタルトレーニング講習会を実施した。作新学院大学教授でとちぎスポーツ医科学センター(T・I・S)のメンタルトレーナーである笠原彰先生を講師に迎え、メンタルと身体パフォーマンスの関係性、試合前の緊張をほぐす動作、仲間同士でする声かけなどを、相撲に特化した小中学生の選手にもわかりやすい内容で学習した。大会月間中であり、不安な気持ちを抱えた選手にも自信がつけられた効果的な講習会となった。



## TSUトレーニングキャンプ

十一月から三月までをTSU強化月間として定め、毎週様々な方法で選手の競技力向上を図っている。その中でも、相撲の練習以外の観点から行う合宿や練習会をTSUトレーニングキャンプと称し、『アスリートはオフに強くなる。』をテーマに力を入れている。今年にはTSU協力アスレチックトレーナーの指導のもと、全身の筋肉量や筋力を測定し自分の身体を数値で確認するフィットネスチェックや巧緻性を鍛えるコーディネーショントレーニング、国際医療福祉大学で教鞭をとる飯島進乃先生による動作分析など幅広い観点から強化を行っていく予定である。



## 2024TSUトレーニングキャンプ in 草津

十一月九日～十日群馬県・日本相撲協会相撲研修道場において今年度初のトレキャンを実施した。今回は、日本三大名湯の一つ草津温泉において合宿を行った。草津温泉の中心地湯畑から徒歩数分の距離にあり、これまで大相撲や指導者の研修会でのみ使用されていたが、二年前よりアマチュア相撲のチームも施設利用が可能となった。二十四時間いつでも入浴可能な温泉と、たくさんのおいしい食事、完全貸し切りの館内という最高の環境で合宿ができる施設である。しかし、トレーニングキャンプは希望者全員が参加できるわけではない。TSU競技力向上対策委員会の推薦を受けた選拔選手のみ参加が許される。TSUから十四名の選手が選拔された。そのほか、地元群馬県の選抜チーム九名と隣県である長野県の長野市相撲クラブ九名の選手を招待、指導者は六名が参加し総勢三十八名で充実した強化合宿を行うことができた。

相撲の練習二回、早朝のコーディネーショントレーニングを行ったほか、慣れない環境で新しい仲間と班を作り寝食を共にし、上級生の役割、周囲への気遣い、仲間への思いやりなど普段の練習だけでは決して学ぶことのできない貴重な経験をすることができた。



事業報告／普及部

T S U 相撲スクール

五月二十六日栃木県・美原運動公園相撲場において小中学生を対象としたT S U 相撲スクールを実施した。この事業は六月一日のT S U 大田原相撲道場設立直前のイベントであり、このイベントを通じて大田原市に相撲道場ができることを多くの来場者に知ってもらうため開催した。参加者四十名以上、観客も含めた総来場者数は二百名を超え、多くの方に相撲の魅力を伝えることができた。このイベントをきっかけにT S U で相撲を始めた選手もあり、T S U 大田原相撲道場は幸先の良いスタートをきった。



指導者派遣事業

公益財団法人栃木県スポーツ協会の事業とちぎの子ども元気塾、栃木県中学校体育連盟相撲専門部の事業中学生相撲練習会の指導者派遣要請を受け、各事業にそれぞれ指導者を講師として派遣した。両事業は一回あたり五十名近くの子どもたちが参加しており、全員が初心者ではあるがスポーツに対して関心の高い子ばかりである。今年度は多くの相撲教室を開催し、協力することができた。はじめるきっかけを提供できるように今後も協力していく。



那須神社例大祭

九月十六日栃木県・那須神社において那須神社例大祭が行われ、選手たちによる奉納相撲の依頼があり協力した。那須神社は扇の的で有名な那須与一ゆかりの神社として由緒ある神社である。当日は流鏝馬の実演や黒羽太鼓の演奏など、たくさん催しが行われた。奉納相撲ではT S U から二十五名の選手が参加し、勝抜き戦やぶつかり稽古を披露し会場を盛り上げた。地域の方々と交流を深める貴重な経験となり、選手たちも楽しい一日となった。



大会報告

わんぱく相撲うつのみや場所

六月一日栃木県・県総合運動公園において第四十二回わんぱく相撲うつのみや場所が行われた。TSU宇都宮の選手とTSU相撲教室に参加した選手が多数出場し三年生以上のすべての階級を制した。

各学年優勝者

- 三年生の部 優勝 野口 燿
- 四年生の部 優勝 一宮 悠李
- 四年生女子の部 優勝 高田 璃唯羅
- 五年生の部 優勝 齊藤 裕二
- 五年生女子の部 優勝 高田 悠唯羅
- 六年生の部 優勝 野口 碧王
- 六年生女子の部 優勝 高田 怜唯羅



わんぱく相撲栃木県大会

六月十六日栃木県・小山市立体育館においてわんぱく相撲全国大会栃木県予選会が開催され、地区ブロック大会を勝ち抜いた七名全員が全国大会への出場権を獲得した。

各学年優勝者

- 四年生の部 優勝 一宮 悠李
- 四年生女子の部 優勝 高田 璃唯羅
- 五年生の部 優勝 齊藤 裕二
- 五年生女子の部 優勝 高田 悠唯羅
- 六年生の部 優勝 野口 碧王
- 六年生女子の部 優勝 準優勝 草地 大志
- 六年生女子の部 優勝 高田 怜唯羅



都道府県中学生相撲大会栃木県予選会

六月二十九日栃木県・総合運動公園相撲場において第三十五回全国都道府県中学生相撲選手権大会栃木県予選会が開催された。TSUからは、六名の選手が出場し割谷純虎選手が、軽量級の部優勝、無差別級の部第三位に入賞し八月の本選出場を決めた。これまで無差別級での結果がふるわなかっただけに、悲願の入賞を勝ち取った。

試合成績

- 軽量級の部 優勝 割谷 純虎(宇都宮)
- 無差別の部 第三位 割谷 純虎(宇都宮)



栃木県少年相撲選手権大会

七月七日栃木県・県総合運動公園相撲場において第四十四回栃木県少年相撲選手権大会JOCジュニアオリンピックカップ第三十七回全日本小学生相撲優勝大会栃木県予選会が行われた。県内最高峰の大会でありながら、上位大会に向けた第一関門である。今大会は所属する各道場から出場したほか、TSUとちぎエリア統括本部は各道場の代表選手によるチームで挑んだ。またTSU相撲スクールなどを通じ出場を決めた選手は準会員としてTSUとちぎエリア統括本部から出場し、三チーム二十七名が出場した。TSUとして初めての県大会出場だったが、団体戦優勝・準優勝をはじめ、個人戦においても七種別中六種別で優勝、十五名が入賞を果たし、力の差をみせる大勝を遂げた。

出場選手

TSU宇都宮相撲道場 監督 高木 飛翔

渡邊 倅暉 (三年) 一宮 悠李 (四年)

高田 璃唯羅(四年) 石川 孔雅 (五年)

高田 悠唯羅(五年) 野口 碧王 (六年)

高田 怜唯羅(六年)

TSU大田原相撲道場 監督 西方 航

藤田 竜誠 (一年) 森 柗太郎(二年)

藤田 竜太郎(三年) 磯尾 柗介 (四年)

津村 煌 (四年) 大倉 正力 (五年)

草地 大志 (六年)

TSUとちぎエリア統括本部 監督 鈴木 雄山

市川 大登 (一年) 藤井 燈 (一年)

増子 一芯 (二年) 築 忠和 (二年)

野口 燿 (三年) 郷間 埜乃 (三年)

渡辺 こころ (三年) 磯野 志遠 (四年)

郷間 琴芽 (四年) 齊藤 裕二 (五年)

小泉 知歩 (五年) 戸村 華姫 (五年)

中野 大義 (六年)

試合成績

団体戦優勝 TSU宇都宮相撲道場

準優勝 TSUとちぎエリア統括本部

一、二年生の部 優勝 築 忠和

三、四年生女子の部 優勝 郷間 琴芽

準優勝 高田 璃唯羅

第三位 郷間 埜乃

※ほか関東出場権 津村 煌

三、四年生男子の部 優勝 一宮 悠李

第三位 野口 燿

五年生女子の部 優勝 高田 悠唯羅

準優勝 戸村 華姫

第三位 小泉 知歩

五年生男子の部 優勝 齊藤 裕二

第三位 石川 孔雅

六年生女子の部 優勝 高田 怜唯羅

準優勝 中野 大義

六年生男子の部 第三位 草地 大志

※ほか関東出場権 野口 碧王

僕が努力していること

野口 碧王

僕は、ずっと相撲の努力をしてきました。去年のわんぱく相撲うつのみや場所で開催のいかない結果で負けてしまいTSU宇都宮相撲道場に通うようになりました。

練習はとても厳しく辛いものでしたが大会で負けるのが悔しくてたくさん練習しました。その結果、わんぱく相撲や県大会で優勝することができました。僕が努力してきた結果だと思えます。市や県の大会以外の大会でもっと強い人たちがたくさんいます。小さい体でも勝てるよう中学生になっても努力を忘れずに頑張りたいです。





**栃木県中学校総合体育大会相撲大会**  
 七月二十二日栃木県・美原運動公園相撲場において令和六年度栃木県中学校総合体育大会相撲大会が行われた。TSU宇都宮相撲道場はクラブとして三名が出場、このほかTSU大田原相撲道場から三名の選手が中学校名で出場した。TSU大田原相撲道場の深澤真咲斗選手が個人戦で三位入賞を果たし念願の全中出場を決めた。

**試合成績**  
 団体戦 第三位 TSU宇都宮相撲道場  
 個人戦  
 一年生の部 優勝 関 心越 (宇都宮)  
 無差別の部 第三位 深澤 真咲斗(三島中)



**中部日本選抜中学生相撲大会**  
 七月二十九日長野県・木曾町民相撲場において第四十六回中部日本選抜中学生相撲大会が行われた。TSUで選考会を実施し、選抜された五名が栃木県代表選手として出場した。団体戦は惜しくも予選突破を逃したが、個人戦では割谷純虎選手が優秀十六選手決勝トーナメント戦に進出した。各地から強豪が集うレベルの高い大会だが、来年は団体個人共に入賞を目指し稽古に励みたい。

**試合成績**  
 個人戦優秀十六選手 割谷 純虎(宇都宮)



有限会社

ドリームファーム

大田原市狭原 130 TEL0287-54-0592



わんぱく相撲全国大会

八月四日東京都・両国国技館において、第三十九回わんぱく相撲全国大会が開催された。TSUからは、ブロック予選を優勝し、県大会でも二位までに入賞した四名の選手が栃木県代表として出場した。上位入賞を果たすことはできなかったが、聖地国技館の土俵で郷土の代表として戦えたことはとても良い経験となった。

出場選手

- 四年生の部 一宮 悠李(宇都宮)
- 五年生の部 齊藤 裕二(宇都宮)
- 六年生の部 野口 碧王(宇都宮)
- 六年生の部 草地 大志(大田原)



夢の両国国技館

草地 大志

わんぱく相撲全国大会に出場することは僕の大きな目標です。四、五年生の時は地区大会でライバルに勝つことができず、悔しい思いをしました。今年は先生方のアドバイスを受けて練習したので、ライバルに勝って全国大会に出場することができました。

夢だった両国国技館の本土俵での相撲は、緊張してあまり覚えていないけど、本物の力士と同じところで相撲ができたのはとてもうれしかったです。中学生になっても、またここで相撲ができるように毎日練習を頑張っています。

一般廃棄物処理業・し尿及浄化槽清掃整備・設置工事  
 浄化槽維持管理・産業廃棄物処理業・下水工事

# 有限会社 河内環境産業

本社 〒329-1105 宇都宮市中岡本町 3021-7 TEL 028(673)2773  
 事務所 〒329-1102 宇都宮市白沢 632 TEL 028(673)9694

令和六年度TSU大会月間

七月二十九日に開催された中部日本選抜中学生相撲大会から、八月二十五日の関東小学生相撲優勝大会まで毎週末、全国各地で大会が行われた。特に夏休み期間中である八月十日は三会場において大会が行われ、各地で熱戦が繰り広げられた。

進級試験並びに親善相撲大会

八月十日東京・両国国技館において第六十九回進級試験並びに親善相撲大会が行われた。この大会は公益財団法人日本相撲協会が主催しており、幼児から中学生までの選手が日頃の練習の成果を確認し合い、相撲の技術向上を目的に開催されている。審判は、現役力士や親方衆が行っており選手にとって楽しい時間となった。TSUからは、男子九名が出場したが上位入賞は果たすことができず、悔しい結果となった。

出場選手

- 一年生の部 市川 大登 (宇都宮)
- 三年生の部 渡邊 倅暉 (宇都宮)
- 四年生の部 一宮 悠李 (宇都宮)
- 四年生の部 磯尾 柊介 (大田原)
- 四年生の部 磯野 志遠 (宇都宮)
- 五年生の部 石川 孔雅 (宇都宮)
- 五年生の部 大倉 正力 (大田原)
- 五年生の部 齊藤 裕二 (宇都宮)
- 六年生の部 草地 大志 (大田原)



関東中学校相撲大会

八月十日山梨県・忍野村国体記念土俵において第四十八回関東中学校相撲大会が行われた。県中学校総合体育大会で第三位に入賞したTSU宇都宮相撲道場が団体戦に出場した。三回戦まで進出したが、一步及ばずベスト十六となった。個人戦には中学校名でTSU大田原相撲道場の深澤選手が出場し、一回戦を突破したが二回戦で破れた。連戦が続き疲労が見えたが、翌日は都道府県大会があり終了後は国技館へ移動した。

試合成績

団体戦 ベスト十六 TSU宇都宮相撲道場  
個人戦 二回戦敗退 深澤 真咲斗(三島中)



相撲女王決定戦

八月十日東京都・アリーナ立川立飛において二〇二四相撲女王決定戦が行われた。今年度から開催された新しい大会で、たくさん女子相撲選手が参加した。TSUからは、正会員一名、選手会員八名とその姉妹二名が出場し合計十一名が大会に挑んだ。大会に先立って行われた団体戦で女子相撲の輪の部では、他チームの選手とチームを結成し対戦した。最強チームの部では一回戦を突破しベスト八となった。個人戦では、高木靖子先生がチャレンジャーAの部で優勝し、各部門の上位入賞者で行われる相撲女王決定戦でもベスト八となった。

出場選手

- 団体戦最強チームの部 一般社団法人TSU 年長・小一の部 藤井 燈
- 小二・小三軽量級の部 郷間 埜乃(第三位)
- 小四・小五軽量級の部 郷間 琴芽
- 小四・小五軽量級の部 高田璃唯羅
- 小四・小五軽量級の部 小泉 知歩
- 小四・小五軽量級の部 高田悠唯羅(第三位)
- 小四・小五重量級の部 戸村 華姫
- 小六・中一重量級の部 高田怜唯羅
- 中二・中三軽量級の部 桑木 陽愛
- 中二・中三重量級の部 戸村 梨桜
- チャレンジャーAの部 高木 靖子(優勝)
- 相撲女王決定戦 高木 靖子

都道府県中学校相撲選手権

八月十一日東京都・両国国技館において第三十五回全国都道府県中学生相撲選手権大会が行われた。各県の代表選手が三人制の団体チームを組み、都道府県対抗で行う中学生版の国スポである。TSU宇都宮相撲道場の割谷純虎選手が栃木県予選を勝ち抜き栃木県代表として出場した。団体戦は同点決勝戦までもつれたが県として久しぶりの予選通過に貢献した。個人戦は軽量級の部に出場し初めての全国ベスト八となった。

試合成績

- 団体戦 栃木県 (割谷純虎)ベスト十六
- 個人戦軽量級の部 割谷純虎 ベスト八



全国都道府県大会に出場して

割谷 純虎

全国都道府県中学生相撲選手権大会に栃木県代表として選ばれ、団体戦と個人戦軽量級の部に出場しました。国技館での試合で緊張しました。特に個人戦は負けたら終わりという中でとても緊張していました。初めての全国の舞台でしたが軽量級でベスト八、団体戦ではベスト十六となりました。脇が甘かったり、頭が上がったり課題も見つかりました。今後は体重を増やし無差別級でも勝てるよう頑張ります。





全国中学校相撲選手権大会

八月十七日及び十八日富山県・新湊アイシン軽金属スポーツセンター体育館において第五十四回全国中学校相撲選手権大会が行われた。県中学校総合体育大会で個人戦三位となったTSU大田原相撲道場の深澤真咲斗選手が中学校名(三島中)で個人戦の部に出場した。予選は三回行われ、二勝した選手が決勝トーナメントに進出できる。深澤選手は一勝にとどまり、惜しくも決勝トーナメント進出を逃した。しかし初めての全国の大舞台で戦うことができ貴重な経験となった。

出場選手

個人戦 深澤 真咲斗 (三島中)



関東小学生相撲・女子相撲大会

八月二十五日山梨県・小瀬スポーツ公園相撲場において第二十七回関東小学生相撲優勝大会及び第二回関東女子相撲大会が行われた。両大会とも県少年相撲選手権大会を勝ち抜いた選手が栃木県の代表権を得る。TSUからは男子六名、女子八名の選手が栃木県代表として出場した。男子はこの大会でベスト四に入賞すると十二月一日に両国国技館で開催される全日本小学生相撲優勝大会に出場できるため選手は一つの目標としているがあと一步で惜しくも逃した。女子相撲大会は上位大会がないが、小六の部で高田怜唯羅選手が優勝を飾った。



出場選手

- |           |            |
|-----------|------------|
| 男子四年生以下の部 | 野口 燿       |
| 男子四年生以下の部 | 一宮 悠李      |
| 男子五年生の部   | 石川 孔雅      |
| 男子五年生の部   | 齊藤 雄二      |
| 男子六年生の部   | 草地 大志      |
| 男子六年生の部   | 野口 碧王      |
| 女子四年生以下の部 | 郷間 埜乃      |
| 女子四年生以下の部 | 郷間 琴芽      |
| 女子四年生以下の部 | 高田 璃唯羅     |
| 女子四年生以下の部 | 津村 煌       |
| 女子五年生の部   | 小泉 知歩      |
| 女子五年生の部   | 高田 悠唯羅     |
| 女子五年生の部   | 戸村 華姫      |
| 女子六年生の部   | 高田 怜唯羅(優勝) |

全国少年相撲選手権大会

十月二十日東京都・アリーナ立川立飛において第二十一回全国少年相撲選手権大会が行われた。TSUではこの大会での団体優勝を年間最大目標として日々取り組んでいる。大会規模も年々拡大しており、昨年度から個人戦の部が始まり、女子の部もできた。今年度は約五百名がエントリーした。全員がこの大会に向け士気を高め練習に励んでおり、他の大会よりもさらに気合いを入れて臨んだ。TSUからは三チーム二十四名の選手と三名の監督と三名のスタッフが参加した。前半に行われた個人戦は、二名以上の選手が入賞すること、悔いの残らない相撲をとることができることを目標に挑んだ。目標であった二人以上の入賞は果たせなかったが、六年生女子の部で高田怜唯羅選手が第三位入賞を果たした。しかし、高田選手は昨年度優勝していたことから連覇を狙い夏の稽古で厳しい練習を乗り越えてきただけに、とても悔しい結果となった。

団体戦では、TSU宇都宮相撲道場が三回戦まで順調に進出したが、そこで優勝チームと対戦し敗れた。TSU大田原道場は接戦ながらもチームで団結し一回戦を突破したが、二回戦で第三位のチームに惜しくも敗れた。団体戦は、個人の力ではなく全員が必要である。来年リベンジを果たしたい。

出場選手

TSU宇都宮相撲道場 監督 高木 飛翔

- 先鋒(三年生の部) 野口 燿
- 二陣(四年生の部) 一宮 悠李
- 中堅(五年生の部) 齊藤 裕二
- 副将(六年生の部) 中野 大義
- 大将(中学生の部) 割谷 純虎

TSU大田原相撲道場 監督 西方 航

- 先鋒(三年生の部) 藤田 竜太朗
- 二陣(四年生の部) 磯尾 柊介
- 中堅(五年生の部) 大倉 正力
- 副将(六年生の部) 草地 大志
- 大将(中学生の部) 関 心越

TSUとちぎエリア統括本部 監督 鈴木 雄山

- 先鋒(三年生の部) 渡邊 倅暉
- 二陣(四年生の部) 磯野 志遠
- 中堅(五年生の部) 石川 孔雅
- 副将(六年生の部) 野口 碧王
- 大将(中学生の部) 割谷 蒼司
- 一年生の部 市川 大登
- 一年生の部 藤田 竜誠
- 二年生の部 増子 一芯
- 三年生女子の部 郷間 埜乃
- 四年生女子の部 郷間 琴芽
- 五年生女子の部 高田 璃唯羅
- 五年生女子の部 高田 悠唯羅
- 六年生女子の部 戸村 華姫
- 六年生女子の部 高田 怜唯羅



栃木県中学校新人体育大会相撲競技

十月二十一日栃木県・栃木県・美原運動公園相撲場において令和六年度栃木県中学校新人体育大会相撲競技が行われた。県中体連の今年度最後の試合となった。TSU宇都宮相撲道場の三名が出場した。団体戦は優勝を目指したが、一点差で敗れ準優勝となった。個人戦はそれぞれ入賞を果たしたが、課題の残る結果となった。来年度の全中団体出場に向け一層の稽古が必要と感じた。

出場選手

- 団体戦の部 準優勝
- 個人戦
- 無差別級の部 第三位 割谷 純虎
- 一年生の部 優勝 関 心越
- 準優勝 割谷 蒼司



大阪府知事杯まいど大阪相撲大会

十月二十七日大阪府・大浜公園相撲場において第十二回大阪府知事杯まいど大阪相撲大会が行われた。一週前の全国少年相撲選手権大会は東日本の選手が中心に出場したが、こちらは西日本の選手が多く出場している。TSU宇都宮相撲道場から八名の選手が出場した。団体戦では強豪チームに順調に勝利し、準々決勝戦まで進出した。相手は一週前に敗れた優勝候補チームであったが一点を先制した。しかし、そこから逆転され惜しくも敗れ、このチームが優勝した。入賞まであと一步の惜しい試合となった。

出場選手

- TSU宇都宮相撲道場A 監督 高木 飛翔
- 先鋒(四年生の部) 一宮 悠李
- 中堅(五年生の部) 石川 孔雅
- 大将(六年生の部) 中野 大義
- TSU宇都宮相撲道場B 監督 奥谷 英宗
- 先鋒(四年生の部) 高田 璃唯羅
- 中堅(五年生の部) 高田 悠唯羅
- 大将(六年生の部) 高田 怜唯羅
- TSU宇都宮相撲道場 監督 高木 飛翔
- 先鋒(中学生の部) 棄 権
- 中堅(中学生の部) 割谷 蒼司
- 大将(中学生の部) 割谷 純虎



## 令和七年度事業計画概要

十一月二十六日、TSU事務局（一部オンライン）において令和六年度定例十一月理事会（出席理事数六／六）が開催され、令和七年度事業計画及び予算編成が決定した。

## The power of sumo.

## 相撲のちから、相撲にもっとできること。

新年度は「The power of sumo. 相撲のちから、相撲にもっとできること。」をテーマにTSU競技力向上基本計画に基づき「新しい相撲のかたち推進事業」「地域活性化推進事業」「相撲振興事業」の三本柱で相撲の可能性をもっと探求し、相撲のちからを世界に発信する魅力ある事業の展開を行い相撲人口の拡大と競技力の向上を図る。

今回決定した事業計画と予算編成は今後開催される役員総会での承認をもって令和七年度より正式に事業がスタートする。主な事業内容は次のとおりである。

## 新しい相撲のかたち推進事業（百六十万円）

- 一、法人運営事業
  - ア、事務局運営
  - イ、理事会運営
- 二、広報事業
  - ア、広報誌作成
  - イ、広報宣伝活動の実施
- 三、後援会運営事業
  - ア、後援会活動の実施

## 地域活性化推進事業（七十万円）

- 一、クラブ運営事業
  - ア、関係機関への登録
  - イ、加盟道場への運営補助金交付
- 二、大会開催事業
  - ア、各種大会開催及び協力

## 相撲振興事業（二百二十万円）

- 一、競技力向上事業
  - ア、連携強化練習会の開催
  - イ、県外合同遠征の実施
  - ウ、医学サポート事業の実施
  - エ、指導者養成講習会の実施
- 二、大会派遣事業
  - ア、各種大会への選手及び指導者の派遣
- 三、相撲普及事業
  - ア、相撲教室棟開催
  - イ、地域連携訪問

## 四、講師等派遣事業

- ア、指導者派遣



# IN 株式会社

〒329-2735 栃木県那須塩原市太夫塚2丁目 229-5  
TEL:0287-48-7211 FAX:0287-48-7211

保護者会より

TSU宇都宮相撲道場保護者会長

野口 隆勇

「TSU宇都宮相撲道場」発足初年度、保護者会長として携わらせていただきました。まずはじめに貴重な体験をさせていただきましたこと、深く感謝申し上げます。

約一年前、長男がわんぱく相撲うつのみや場所で三位になり、来年は優勝したいという思いから道場探しがはじまりました。当時、残念ながら宇都宮市には相撲道場が無く落ち込んでいたところ「宇都宮相撲道場設立」のLINEが届きました。私たち親子にとつて、まさに奇跡的な出来事でした。

この宇都宮相撲道場を立ち上げて下さった高木監督には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これで強くなれると確信して練習に通う中、二ヶ月後に行われた全国少年相撲選手権大会では全国レベルの強さを肌で感じ、子どもたちが悔しい思いをしたことを今でも覚えています。そこから私たち保護者の意識も変わり、一致団結してチームが目標とする全国少年相撲選手権大会での団体優勝に向けこの一年頑張ってきたと思います。

そして迎えた今年の全国少年相撲選手権大会。団体戦の結果は四十六チーム中ベスト



# ナルミヤスポーツ

〒324-0056

大田原市中央 2-16-15

TEL 0287-23-6668



十六。まだまだ目標には届かないものの、一歩ずつ前に進んでいることは確かです。  
 私たち保護者には全力で応援すること、見守ることしかできません。しかしながらこのことが、子どもたちが成長していくにあり、とても必要なことだとこの一年で強く感じていました。  
 高木監督はじめ諸先生方を信じ、子どもたちを全力で見守る。今後も保護者会として一致団結し全力でサポートできればと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



上州大判焼

上州大判焼

oobanyaki EN





grill KOHYO

Grill 光陽



Grill 光陽

〒530-0047  
 大阪府大阪市北区西天満 5-15-9  
 TEL 06-6365-6718

## 令和六年度後援会

TSUは後援会の皆様の御協力のもと運営を行っております。おかげさまで多くの皆様に御賛同いただくことができました。御協力いただいた後援会費は選手の力となるよう有効活用させていただきます。今後とも御協力の程よろしくお願い致します。

## 令和六年度後援会員の皆様(口数毎五十音順敬称略)

## スペシャルパートナー

有限会社河内環境産業 五口

有限会社ドリームファーム 五口

高木 飛翔 五口

IN株式会社 三口

株式会社えん 三口

有限会社エーエム企画 三口

## オフィシャルスポンサー

将建 二口

植竹 秀・奥谷 英宗・菊池 大史芽・行政書士さきいとう事務所

昇起施術所・中村弘・有限会社ナルミヤスポーツ・

ファイナンシャルアライアンス株式会社・陽南相撲道場

計 三十五口

御入会のタイミングにより御紹介ができなかった場合がございます。次号の会報にて改めて御紹介させていただきますので御了承ください。なお、今年度分及び来年度も後援会員を随時募集しております。御賛同いただける方は電子申請のうえ下記口座に御振込みをお願い致します。

【足利銀行 県庁内支店 普通口座55122502 一口一万円】

## 編集後記

## “鍛錬”

今年には職場の異動、新しい組織の立ち上げ、道場の出場大会増加などによりとても忙しい一年だった。出張も増え、月の半分以上を県外で過ごすことも珍しくなくなった。忙しい中でも移動中は自分の時間と決め、ネット動画をのんびり視聴することになっている。

最近ハマっている動画は、砂鉄から日本刀ができるまでの過程を追いかけた動画である。北海道の砂浜で砂鉄を集め、日本古来のたたら製鉄により玉鋼を製錬し、刀匠がそれを鍛錬し刃文を描き、研ぎ師が刃をつける。刀匠の鍛錬はいくつかの工程に分かれており、特に「造込み」と呼ばれる工程では、比較的柔らかい心鉄を硬い鋼である皮鉄で巻き付け熱しつける。これにより、外側は硬く内側は柔らかい鋼の構造に仕上がるため「よく切れるが、折れにくい」という一見相反する性質を持たせることが可能となる。

武道では宮本武蔵の「先日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす」という言葉から「鍛錬」とよく聞く。厳しい修練を積み、心身を鍛えることを意味する。刀匠が日本刀を何度もたたき鍛える工程がそれに類似することから現代では「鍛錬」と混同して使われることが多い。相撲において相応しいのは「鍛錬」なのか「鍛練」なのか。そんなふうでもいいことを考えているとあつという間に目的地に到着する。

高木 飛翔

刀鍛冶・日本刀が語源の言葉 変わり番子、相槌を打つ、急刃凌ぎ、切羽詰まる、抜打ち、折紙つき、単刀直入、反りが合わない、付焼刃

